

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

顧客第一の経営姿勢を堅持しながら時代の変化を先取りし、競争力のある強固な企業体質を確立する信頼性の高い企業集団を目指す

売上高
455億円

営業利益
7億円

② 中長期の経営戦略

1. 新造船プロダクトミックス

一般貨物船、自動車運搬船などの外航船及びフェリー、RORO船などの内航船の多種多様な建造推進

3. 改修船事業高度化

高度な技術力・技能力でさらなる高品質化とコストダウンを実現

2. コスト競争力強化

受注一貫体制の充実によるコスト競争力の強化とリスク管理の徹底、2工場への戦略的設備投資

4. 人材確保と育成

戦略的な人材採用による若手技術者・技能者の確保及び体系的教育、ベテランの有効活用と技術伝承

③ 対処すべき課題

① 経営環境への対応

- ・ 資機材価額の値上がりが続く状況への対応
- ・ 為替相場の急激な変動懸念への対応
- ・ 中小型フェリー・RORO船などの代替需要獲得

② 収益性向上

- ・ 生産性の向上と固定費削減による営業利益7億円達成
- ・ 資材費対策と固定費の削減の推進
- ・ 自己資本比率及び自己資本利益率の向上

③ 働き方改革と組織構築

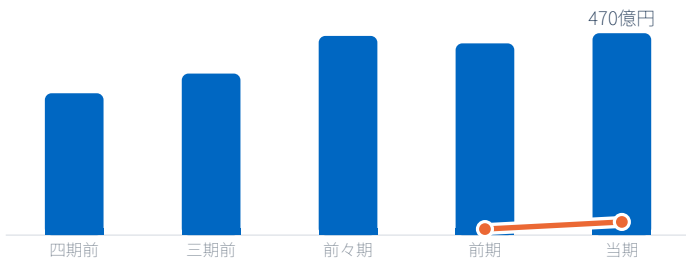
- ・ 働き方改革の推進及び魅力的な職場環境構築
- ・ 省エネ・環境保護活動の推進
- ・ 公平・公正な財務情報公開と有効な内部統制維持

面接で使えるポイント

- ・ 中堅造船所として技術力を国内外から評価される強みを活かし、一般貨物船から新造船まで多種多様な建造を実現する経営戦略
- ・ 2026年3月期に売上高455億円・営業利益7億円達成を目指し、受注一貫体制の充実とコスト競争力強化に取り組む姿勢
- ・ ゼロエミッション船などの新分野開発と若手技術者確保による持続的成長で、社会と地域に貢献する企業価値向上を実現

証券コード 7018

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
広島県尾道市に本社を置く輸送用機器製造企業であり

主力事業・セグメント

- ・輸送用機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
470億円営業利益率
6.5%財務健康度
31点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 39.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
686万円

輸送用機器内 42位/82社

平均年齢
41.6歳

輸送用機器内 55位/83社

平均勤続
15.6年

輸送用機器内 60位/83社

女性管理職
1.6%

輸送用機器内 63位/72社

男性育休
25.0%

輸送用機器内 66位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 内海造船[7018]：投資単位の引下げに関する考え方及び方針

